

令和3年1月26日（火）
国土交通省関東地方整備局
東京国道事務所

記者発表資料

**「R2国道20号明大前歩道橋改修下部工事」において
「公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）」、「見積活用方式」、
「余裕期間制度（フレックス）」「難工事指定」を試行します。**

工事発注において、予定価格超過や入札参加者がいないことなどを理由として、入札のとりやめや不調が予測される工事について不調不落対策を試行しております。

今回発注する「R2国道20号明大前歩道橋改修下部工事」については、「公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）」、「見積活用方式」、「余裕期間制度（フレックス）」「難工事指定」を試行します。

①「公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）」

競争参加者が少数と見込まれる工事について対象工事ごとに技術資料収集に係る公示資料の交付を受けて、競争参加希望者が参加表明確認申請書及び技術資料（参加要件は企業のみとして技術者要件を求めない。）を提出し、指名基準による選定を行い、指名された競争参加希望者により総合評価落札方式で落札者を決定するものです。

なお、総合評価は、災害活動実績を加算点としています。

②「見積活用方式」

本工事は、交通量が多い道路沿線での分割施工を伴う工事であり、また構造物が近接した工事であるため、作業効率の低下が懸念されます。このため、入札者からの見積の提出を求め、その価格の妥当性を検証のうえ、予定価格に反映する「見積活用方式」を採用します。

見積を求める工種は、標準的な積算と乖離が予定される工種より選定しています。

③「余裕期間制度（フレックス）」

受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、事前に建設資材、労働者確保等の準備を行うことができる余裕期間を設定する制度です。

④「難工事指定」

工事を適切に完成させた場合、その後の発注工事における総合評価項目「難工事施工実績評価対象工事（試行）」を加算対象とする「難工事指定」を採用します。

東京国道事務所のホームページ、ツイッターでも道路情報が確認出来ます。

■東京国道事務所ホームページ <https://www.ktr.mlit.go.jp/toukoku/>

■公式ツイッター情報 https://twitter.com/mlit_toukoku/



ホームページ Twitter

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、都庁記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 東京国道事務所

電話 03-3512-9090（代表）

副所長 粕谷 日出夫 交通対策課長 五味 康真

《工事概要》

- (1) 工事名：R2国道20号明大前歩道橋改修下部工事
- (2) 工事場所：東京都世田谷区松原二丁目地先
- (3) 工期：契約の翌日から令和3年10月29日
- (4) 入札方式：公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）
- (5) 工事種別：維持修繕工事
- (6) 工事内容：下記のとおり

・作業土工	1式	・アンカーフレーム	4基
・鋼管杭（φ400）	14本	・土留・仮締切工（ライナープレート）	16m
・鉄筋（SD345 D16～25）	約 1.8t	・構造物撤去工	1式
・鉄筋（SD345 D13）	約 0.5t	・仮設工	1式
・コンクリート（σCK=24N/mm ² ）	約50m ³		
・コンクリート（σCK=18N/mm ² ）	約 4m ³		
・型枠	1式		

《公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）について》

競争参加者が少数と見込まれる工事について対象工事ごとに技術資料収集に係る公示資料の交付を受けて、競争参加希望者が参加表明確認申請書及び技術資料（参加要件は企業のみとして技術者要件を求めない。）を提出し、指名基準による選定を行い、指名された競争参加希望者により総合評価落札方式で落札者を決定するものです。

なお、総合評価は、災害活動実績を加算点としています。

《見積活用方式について》

見積の提出を求める工種

直接工事費のうち、以下に係わるもの。

- | | |
|-----------|-----------------------|
| ○橋脚フーチング工 | ○階段基礎工（A1階段受台・A2階段受台） |
| ○作業土工 | ○路面覆工 |

見積の提出を求める理由

本工事は、交通量が多い道路沿線での分割施工を伴う工事であり、また構造物が近接した工事であるため、作業効率の低下が懸念されます。このため、入札者からの見積の提出を求め、その価格の妥当性を検証のうえ、予定価格に反映する「見積活用方式」を採用します。

《余裕期間制度》

本工事は、受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、事前に建設資材、労働者確保等の準備を行うことができる余裕期間を設定した工事であり、令和3年10月29日までの間で、受注者は工事の始期及び終期を任意に設定することができます。

なお、工事の始期までの余裕期間内は、監理技術者等の配置が不要となります。

《難工事指定》

本工事は、施工箇所が狭隘な箇所であり、作業スペースの確保が困難であること、点在している工区の工程調整を要するため、「難工事指定」を採用します。

「難工事指定」された工事は、完成時に70点以上の工事成績評定を通知された場合、今後発注される「難工事施工実績評価対象工事（試行）」の総合評価の評価項目において加点対象となります。

《スケジュール》

- | | |
|------------------|-----------------|
| ○入札公示、入札説明書 交付 | ： 令和3年 1月26日（火） |
| ○参加表明確認申請書 提出期限 | ： 令和3年 2月 9日（火） |
| ○入札書・工事費内訳書 提出期限 | ： 令和3年 3月 8日（月） |
| ○開札日 | ： 令和3年 3月11日（木） |

公募型指名競争入札方式(総合評価落札方式)の試行について

対象は
一般土木
C,B+C工事
維持修繕等

【メリット】

- ✓ 施工体制確保→発注工事の公募
- ✓ 資料は参加希望の意思確認時のみの提出
→資料の簡素化、合理化(個別発注時では不要)
- ✓ 手続期間の短縮
→指名通知から決定まで2週間程度
- ✓ 指名競争・総合評価落札方式
→災害協定の締結や活動に係るインセンティブの向上

公示
(工事内容・入札時期・落札方式等)

工事参加希望の意思確認・技術資料の提出
(参加意思表明申請書+必要資料の提出)

参加要件は企業とし、
技術者要件は求めない

指名基準による選定

発注(指名通知)

以降は指名競争・総合評価
落札方式の手続き

指名競争・総合評価落札方式により落札決定

標準点100点+加算点(10点)+施工体制
評価点(30点)÷入札価格=評価値
※加算点は災害活動実績

公募による企業の参加

公募結果に基づく指名

災害協定の締結や活動に
係るインセンティブの向上